

郷土料理の認知度向上と異文化理解促進

3年1組36番 溝口美楽

Keyword: 「郷土料理」「子ども食堂」「交流」「インドネシア」「異文化理解」

1. はじめに

私は奈良県で育つ中で、奈良県の郷土料理についての話題が周囲でほとんど聞かれないことに疑問を抱いた。また、観光地としての奈良は全国的に知られているが、郷土料理の知名度は低く、県民の関心も薄いと感じた。この現状を変えたいという思いから、「食」を通じて地域文化への理解を深める活動を始めた。さらに、私自身が高校時代にインドネシアへ留学した経験から、食文化が異文化理解の第一歩になり得るのではないかと疑問に思い、地域と世界の文化交流をつなぐ取り組みへと発展させた。

2. 序論

問いは以下の2点である。1、郷土料理の認知度を高めるには、どのような取り組みが効果的か。2、食を通じた異文化交流は、地域社会にどのような影響を与えるか。そして私は実際に郷土料理や食を通じた異文化交流に関する先行研究を文献調査によって確認した。郷土料理の継承に関する研究では、地域アイデンティティの形成における食文化の重要性が指摘されている(*1)。また、食を介した異文化交流が相互理解を促進するという報告もある。(*2)さらに、奈良県内では給食による郷土料理の継承活動が行われており、その一例として奈良市内の小・中学校では「古都ならの日」の献立が提供されており奈良県の郷土料理を子どもたちに提供するという取り組みが報告されている。(*3)こうした実践は地域の食文化を体験的に学ぶ場として一定の効果を上げているが、若者主導での継続的な実践や、異文化交流の視点を組み合わせた活動はまだ少ない。

3. 本論

本研究では、奈良県の郷土料理とインドネシア料理を2回のイベントに分けて日本国内で提供し、地域と異文化を結ぶ活動を通して食文化理解の促進を試みた。まず、生駒市の「子どもたわわ食堂」において、奈良県の郷土料理の認知度に関する簡単な意識調査を行い、その後、奈良の郷土料理(奈良のっぺ、柿なます、竜田揚げなど)計11食を実際に調理・提供した。(*4)次に、インドネシア留学中には、現地の人々に日本料理(おにぎり・味噌汁)を提供し、文化交流を実施した。

帰国後は再び「子どもたわわ食堂」にて、現地の材料を使ったナシゴレンなどのインドネシア料理を提供し、会場にハラルフードや宗教文化に関するポップを掲示した。価格は大人300円、子ども100円に設定し、実際の売上・参加者数を通じて地域への影響を分析した。

4. 結論

奈良県の郷土料理のイベントでは、子どもや保護者から「初めて奈良の郷土料理を食べた」「家でも作ってみたい」という感想が寄せられた。しかし、参加者の多くが「奈良の郷土料理を知る機会が少ない」と回答しており、提供イベントが食文化の再発見の場となったことが分かった。また、ナシゴレンなどのインドネシア料理の際のイベントでは、ハラル対応の工夫や文化紹介ポップが注目を集め、宗教や食習慣の違いについての理解促進につながった。結果として第二回のイベントでは約100食を提供し、売上は寄付金含め約14,000円を記録した。活動後のアンケートでは「異文化への興味がわいた」「初めて海外のご飯を知ることができた」といった意見が多数見られた。

5. おわりに

これらの結果から、「食の体験」を通じた文化交流は、単なる学習よりも強い印象を残すことが確認された。特に、地域の子どもたちが「自分の土地の料理」や「海外の料理」を味わう経験は、郷土文化への誇りと他文化への関心や尊重を育む教育的効果を持つと考えられる。また、低価格での提供により、経済的背景を問わず多様な層の参加が可能となり、地域交流の実現にも寄与した。

本研究を通して、私は「食」は文化の象徴であり、人々をつなぐ共通言語のうちの一つであると実感した。郷土料理の魅力を再発見したり、海外の食事を通して異文化を尊重する姿勢を育むことは、地域社会の中での国際理解の規約となる活動であり、とても意義のある探究活動となった。今後は、奈良県の郷土料理やハラル対応食をテーマに、学校や地域団体と連携した食文化ワークショップを継続的に実施し、「食から始まる異文化交流の場」の確立を目指したい。

6. 参考文献・出典

- *1 佐藤恵美(2018)『地域食文化の継承と教育の可能性』食文化研究, 第12巻, pp.45–58.
- *2 中村浩一(2020)『食を通じた異文化理解教育の実践研究』国際理解教育ジャーナル, 第28号, pp.13–24.
- *3 https://www.city.nara.lg.jp/site/school-lunch/234103.html?utm_source=chatgpt.com

奈良の地場産物や郷土料理を取り入れた「古都ならの日」の献立。小学校:3月3日(月曜日) 中学校:3月3日(月曜日)

- *4 生駒市子どもたわわ食堂(2022年11月30日)公式インスタグラム

奈良県公式観光サイト(2024)「奈良の郷土料理」
https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/search_menu/area/nara.html